

主要事業評価シート(第2次実施計画／R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	産業環境部
	17032	田園環境保全事業		課名	農林振興課 農林政策G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	01:一般会計
	基本施策	08:自然との共生		款	06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全		項	01:農林水産業費
② 概要	戦略プロジェクト	-		目	03:農業振興費
	事業予定期間	H 29	～ R - 年度	主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	農業者・集落営農組織			
	目的	景観作物を一団の農地に作付けすることで、農地を保全し、持続的な田園環境の維持を推進するとともに、転作の推進・耕作放棄地の未然防止・農地景観の維持等を図ることを目的とする。			
③ 概要	概要	市内に住所を有する者または集落営農組織を対象として、中山間地域においては、30a以上、その他の地域においては100a以上の一団の農地にれんげ・コスモス・菜の花・ひまわり等の対象作物を作付した場合に補助金を交付する。			
	概要				

③ 事業の計画・実績	年度計画	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付 (2件/750a) ・景観作物のみ作付(単作) (5件/550a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR		○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付 (2件/750a) ・景観作物のみ作付(単作) (5件/550a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR		○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付 (2件/750a) ・景観作物のみ作付(単作) (5件/550a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR	
	年度実績	○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付(2件/487a) ・景観作物のみ作付(単作)(5件/823a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR 4回		○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付(2件/648a) ・景観作物のみ作付(単作)(5件/546a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR 4回		○補助金の交付 ・集団転作等の裏作として作付(2件/712a) ・景観作物のみ作付(単作)(5件/409a) ○PRの実施 ・市フェイスブック等によるPR 2回	
③ 事業の計画・実績	計画額	事業費	3,800千円	事業費	3,800千円	事業費	3,800千円
		国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金	
		県支出金		県支出金		県支出金	
		地方債		地方債		地方債	
		その他		その他		その他	
	予算額	一般財源	3,800千円	一般財源	3,800千円	一般財源	3,800千円
		事業費	3,800千円	事業費	3,800千円	事業費	3,260千円
		国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金	
		県支出金		県支出金		県支出金	
		地方債		地方債		地方債	
	決算額	その他		その他		その他	
		一般財源	3,800千円	一般財源	3,800千円	一般財源	3,260千円
		事業費 ①	3,753千円	事業費 ①	3,157千円	事業費 ①	2,798千円
		国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金	
		県支出金		県支出金		県支出金	
	人件費	地方債		地方債		地方債	
		その他		その他		その他	
		一般財源	3,753千円	一般財源	3,157千円	一般財源	2,798千円
		総人件費 ②	0千円	総人件費 ②	2,352千円	総人件費 ②	2,371千円
	人件費	一般職員	0千円	一般職員	2,352千円	一般職員	2,371千円
		所要人員		所要人員	0.30	所要人員	0.30
		会計年度任用職員等	0千円	会計年度任用職員等	0千円	会計年度任用職員等	0千円
	総コスト(①+②)		3,753千円	5,509千円		5,169千円	
	受益者負担率		0.0%	0.0%		0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称 補助金交付件数	活動	計画値	7	7
		年間の補助金交付件数		実績値	7	7
				単位	件	件
	②	名称 作付面積	成果	計画値	1,300	1,300
		補助対象作付面積の合計		実績値	1,419	1,194
				単位	a	a
	③	名称 市フェイスブック等を利用したPRの回数	活動	計画値	4	5
		市内外へ農地を保全することの意味や田園環境への取組を積極的にPRした回数		実績値	4	4
				単位	回	回

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 農業経営の安定化を支援しつつ、農村景観の向上や耕作放棄地の発生防止に対する理解を得て継続的な運営を支援するため、国の交付金や他の補助金制度などがあれば、活用を推進する。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 景観作物の作付により、農村景観の向上や耕作放棄地の発生防止に繋がった。また、市フェイスブックなどを継続して活用することで、市内外に広くPRすることができた。

評価		(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 市フェイスブックやHPによる周知を行うことで、計画には及ばなかったが、一定の範囲で作付けが行われ、7件の補助金を交付した。 B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 農村環境の保全や景観の向上、耕作放棄地の発生防止に繋がった。 B まずまず成果を得た

⑦今後の対応方針	課題	【課題は何か】 農家や営農組織の担い手の高齢化や、収支のバランスをとる難しさがある中、農村景観の向上や耕作放棄地の発生を防止していくため、今後も取組面積及び取組者数を維持していく必要があるとともに、新たな取組者の発掘を行う必要がある。	次期実施計画への方向性	☐ 継続（拡大）
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 国の交付金や他の補助金制度などがあれば積極的に活用するとともに、市フェイスブックやHPによる周知を行う。		☒ 継続（現状維持）
				☐ 継続（縮小）
				☐ 完了
効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 景観作物作付の取組者数の維持、拡大を図り、農村景観の向上や耕作放棄地の発生防止を図ることができる。	☐ その他		
対応時期	—	【その他の場合、その内容を記載】		

【1次評価者】	産業環境部 農林振興課 農林政策グループリーダー 葛西 裕二
【最終評価者】	産業環境部 農林振興課長 水越 洋光

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	A	B	B
	成果	B	B	A	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		3,260 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	3,260 千円
	令和4年度への繰越額	千円